

第 25 期日本学術会議総合工学委員会  
第 4 回 ICO 分科会  
議事要旨

日時: 令和 4 年 5 月 10 日(火) 11:50~12:30

場所: 日本学術会議 6 階会議室 6-A(1)

出席者: 荒川泰彦委員長、馬場俊彦幹事、植田憲一、笹木敬司、中野義昭、野田進、  
保立和夫、美濃島薫、谷田貝豊彦(オンライン); 各委員

オブザーバ: 岩本敏、小関泰之、北村恭子、久保若菜、小澤祐市、種村拓夫、西山伸彦、  
松井良太、宮本智之; 光科学技術調査企画小委員会各委員

配布資料

資料1 前回議事要旨

資料2 経過報告

資料3 国際光デー記念シンポジウムレジュメ

資料4 ICO の活動について

議題

1) 前回議事要旨確認

資料1にもとづき、荒川委員長が前回議事要旨を説明、確認した。

2) 経過報告

・資料2にもとづき、荒川委員長が第 3 回 ICO 分科会開催以後の経過報告を行った。ICO の ISC (国際学術会議) への加盟申請に関連して、日本学術会議がサポートレターを送ることの可否について ICO 分科会に問い合わせがあり、それに対して、日本学術会議も ICO の加盟を支持することが妥当、Affiliated member から Uniof full member への昇格は妥当、という趣旨の回答を行ったことが報告された。

3) 国際光デー記念シンポジウムの開催について

資料 3 にもとづき、馬場幹事・光科学技術調査企画小委員会委員長から、同日午後開催予定の国際光デーシンポジウムの企画経緯についての説明があった。

4) 日本学術会議総会について

2022 年 4 月に開催された第 184 回総会について、中野委員(会員)より報告があった。一昨年からの会員任命問題への対応、途絶えていた政府からの検討依頼の復活、日本の研究力低下に関する議論、大型予算に関する従来のマスタープランに代わる未来の学術振興構想、学術における DX の利活用、5 名のノーベル賞受賞者への名誉会員の称号授与などが述べられた。

5) ICO の状況報告

資料 4 にもとづき、美濃島委員(ICO 副会長)より、最近の ICO 内部の議論について報告があっ

た。ISC full member への昇格申請について、ISC より加盟全会員団体への賛否の問い合わせがあり、12 団体の支持により昇格が決まること、2 年延期されていたドレスデン開催の ICO-25 & OWLS16 (Bureau Meeting、General Assembly を含む) が 2022 年 9 月 5～9 日に開催の予定であること、ICO Prize の申請締め切りが 4 月 15 日だったが、6 月 15 日まで延期されたことなどが述べられた。

以上  
(馬場記)